Q2. 生まれながらに「律する」ということを知っているという考え方はおかしいのでは？両親などに「律する」ということを学ばないと「自律」なんて不可能ではないのか

A.「他律の時期に他人に縛られていないのに立派な自律ではないのか」という意見もあるが、人間が社会を担っていくには自己のコントロールが必要だと思う。そのために「他律」の時期は必要。

Q3. 無律→他律→自律の流れで他律を飛ばすのは親の愛ではなく友達との関係ではないのか。

A. おっしゃるとおりです。でも普通は人とうまく関わるには自分を抑えなければならない。

Q4. 自分が権力から学んだことは、自分が不利益を被らない程度に自主的に服従することだった。

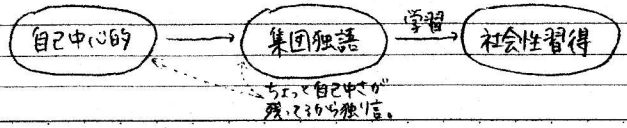
A. 理性的に権力に服従することもあるよ。

* 自閉症患者…言語が後れていることが多い。
  ↳ 10歳くらいまでに習得しなければもうほとんど無理。
  → この時期に何らかのハンディで言語を学べなかったパターンが多い。
  → とりあえず母語だけでも学ぶべき。

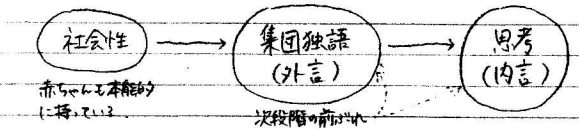
* ニクラウス＝ルーマン…「権力の行使は時間の節約になる」
  ex. 子どもの遊びに介入しないと、友達とのスムーズな関わりには時間がかかる。
  → 自制の必要性と楽しい結果になることを教える
  → 他律が要るわけ。

* 集団独語…みんな寄ってたかって勝手に独り言を喋ってる。
  連合遊び（協同遊び）、平行遊び（並行遊び）

〈ピアジェ〉



〈ヴィゴツキー〉

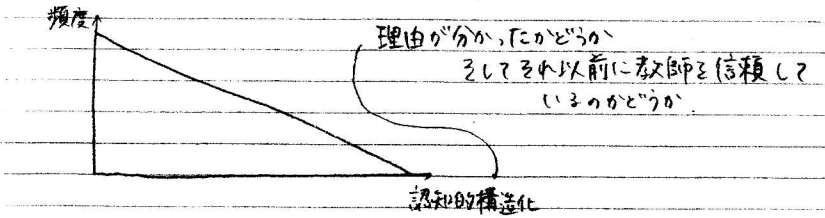


* 皆独り言なら一人一人に分けたらいいんじゃないの？
  → 不思議なことに分けられると集団独語が消える。
  → 聞いてもらっていると感じることが必要。社会性は意外に根深い。

* S-R理論…刺激に反応
  ↑ ワトソン（行動主義）らの自然科学に影響を受けて変化
* S-O-R理論…間に組織体（organism）を含む。
  刺激が組織体に解釈・消化され、反応が起こる。
  もともとの心理学の考え方

〈パーク〉

* 数人で遊んだとき、十分な数のおもちゃを準備し、その中で使ってはいけないおもちゃを決める。（子どもは7〜8歳くらい）
  → そのおもちゃを使ってしまう子どもが出てくる



* ソフトな権力…愛着→信頼　…情的信頼
* ハードな権力…罰の非恣意性、定型性→信頼　…知的信頼
  親が怒る理由を理解することが必要。